

老眼研究会モーニングセッション

第5会場(ホールB5(2))

6月17日(日)7:30~9:00

座長：前田直之 大阪大
坪田一男 慶應大

各種の多焦点眼内レンズ

荒井宏幸 みなとみらいアイクリニック

老眼とサプリメント

坪田一男 慶應大

遠近両用コンタクトレンズ

梶田雅義 梶田眼科

Presbyopic Update in Europe

Damien Gatinel

座長の言葉

このJSCRS学会の朝の恒例行事となりつつある老眼研究会モーニングセッションですが、おかげさまでこれまで議論してきた老眼の定義・診断基準もあたらしい眼科に「老視の定義と診断基準2010」として掲載されました。

第5回を迎えた今回は、すでに世界中で白内障手術の一定の地位を得た多焦点眼内レンズについて様々なIOLの臨床経験をお持ちの、みなとみらいアイクリニックの荒井先生にREVIEWして頂きます。

老視についてアンチエイジング的、特にサプリメントの観点から慶應大学坪田教授にREVIEWして頂きます。

そして手術をされない先生でも身近な存在であります遠近両用コンタクトレンズについて梶田眼科の梶田先生に概説して頂きます。

残念ながら日本では老視治療についてはいまだ活発とは正直言いがたい状況ですが、新しい治療が数多く施行されているヨーロッパにおける老眼治療の話題についてGatinel先生にREVIEWして頂きます。

皆様方にはこの1時間半のモーニングセッションで、手術、非手術(サブリ、コンタクトレンズ)の現在のアプローチそして将来の新しい治療について老眼最新情報を得ていただければと思います。たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

MEMO